

愛称は

Seikatsu Kaiteki Yume 生活快適・夢プラン

「平塚市総合計画」を策定しました

総合計画は、市の様々な計画や施策のもととなるものです。市政運営の基本となる最上位の計画で、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成しています。平塚市の進む方向を示した羅針盤であり、かじ取りをしていくための基礎になります。今年6月の第2回市議会定例会で、「平塚市総合計画」の基本構想が議決されました。これからはこの計画に基づき、市民のみなさんの視点に立ったまちづくりを進めていきます。

市民の視点に立ったまちづくり

平塚市では、昭和63年度から始まった「新平塚市総合計画」に基づき、まちづくりを進めてきました。この間、社会・経済の変化がスピードを速めてきたため、平成10年には基本計画を見直し、「改訂基本計画」を策定することにより、新たな市民ニーズに応じたまちづくりを展開してきました。

このような中、市民のみなさんの視点に立ったまちづくりを進めていくために、次の4点を踏まえ基本構想から見直した「平塚市総合計画」(以下「総合計画」)を策定しました。

総合計画の計画期間



構成と計画期間

総合計画は、上図のとおり基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成しており、計画期間が異なります。

- **基本構想** 平塚市の将来像や基本目標のほか、これらを達成するための方針について体系的に定めています。
- **基本計画** 基本構想を踏まえ、市民と市が協働でまちづくりをするための役割、成果指標など具体的な取り組みについて定めています。
- **実施計画** 基本構想や基本計画を踏まえ、市としての具体的な事業を実施するのかわ

「ひとまち自然生活快適都市 ひらつか」を目指して



平塚市長 大蔵律子

本市を取り巻く社会環境は著しく変化し、少子・高齢化の進展や人口減少社会の到来など、様々な課題が山積する一方、まちづくりに対する市民の活動意欲・参加意識が高まり、地域力や市民力が求められる時代になってまいりました。

こうした情勢を踏まえ、新しい時代のまちづくりの指針として、「平塚市総合計画 生活快適・夢プラン」を策定いたしました。この計画は、策定の初期段階から多くの市民の方に参加・参画していただき、まちづくりのあり方、目指すべき姿を検討し、市民の視点に立った計画としています。今後、この計画に基づき、将来の都市像として定めた「ひとまち自然生活快適都市 ひらつか」の実現に向け、まちづくりを展開してまいります。計画策定にあたり、ひらつか未来市民会議のみなさま、フォーラムやパブリックコメントなどにご参加いただいたみなさま、総合計画審議会委員のみなさま、そして平塚市議会議員のみなさまに心からお礼申し上げます。

総合計画の役割

総合計画は3つの役割を果たします。

- ① 市政運営の基本となる指針を示した最上位の計画
- ② 将来を見通した成果目標を示し、市民と市が共通の理念のもとにまちづくりを進めていくための指針となる計画
- ③ 国、県、近隣市町村などに平塚市の姿勢を示し、協力・連携・調整を求めていく際の基本となる計画

5つの特徴

- 総合計画には5つの特徴があります。
- ① 豊かな自然環境(里山・田園・海・川など)、固有の文化(湘南ひらつか七夕まつり・囲碁など)、幅広いスポーツ文化(湘南ヘルマールなど)をいかした平塚らしい計画としています。
 - ② 計画策定の初期段階から多くのみなさんの参加・参画を得て、身近で親しみやすい市民の視点に立った計画としています。
 - ③ 市民と市がまちづくりの目

SKKYプラン

愛称は「生活快適・夢プラン」としました。生活の「S」、快適の「K」、夢の「Y」というように、それぞれの頭文字を取って、「SKKY(スカイプラン)」と名づけています。市民のみなさんにとって、快適で住みやすいまちづくり、また、市民のみなさんが活躍できるような環境や地域の仕組みなどが確立され、「夢」を思い描けるようなまちづくりを目指すという思いを込めています。

未来に向かっしんチャンプする平成19年度子ども広報記者